

下野市図書館協議会 議事録

審議会等名 令和3年度 下野市第4回図書館協議会
日 時 令和4年1月19日(水) 9時30分から11時30分まで
会 場 下野市役所 2階 203会議室
出席者 青木委員長、鈴木副委員長、大垣委員、晴山委員、下山委員、松本委員、高木委員、小林委員、高橋委員

市側出席者 【欠席委員】 設楽委員
(事務局) 浅香課長、伊澤館長補佐
(指定管理) 倉井石橋図書館総括管理運営責任者、和田石橋図書館管理運営責任者、小畑国分寺図書館管理運営責任者、池田南河内図書館管理運営責任者

公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴者 0人

報道機関 0人

議事録(概要) 作成年月日 令和4年3月23日

議 題

- (1) 令和3年度図書館評価について
- (2) 利用者アンケート結果報告について

【協議事項等】

1 開会<浅香課長>

2 あいさつ

<青木委員長> あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。コロナも収束せず不自由かと思うが負けずに頑張っていきたい。今日は評価とアンケートの結果報告という議題なので協力をお願いします。

3 議 題

- (1) 令和3年度図書館評価について

【質疑等】

青木委員長 事務局から説明をお願いします。

事務局 昨年度までは公表の際に関連資料として評価シートを付けていたが、今年度から他の評価報告に倣って評価報告本体のみの公表とする。

令和3年度図書館評価について(評価シート)により説明。

石橋図書館 令和3年度図書館評価について(評価シート)により説明。

国分寺図書館 令和3年度図書館評価について(評価シート)により説明。

南河内図書館 令和3年度図書館評価について(評価シート)により説明。

青木委員長 (1)について質問があれば挙手願う。

松本委員 全体の取組の中で「インターネットを使った予約サービスの充実」については

9か月分を前年度と比較する書き方で良いと思うが、その他の基本計画の成果指標に関する項目は令和元年度から7年度までを比例配分した各年度の目標値のライン上に乗っているかを見て評価したいので違う方法が良い。

事務局

評価報告時には3月末の数字を出している。

松本委員

最終的にはそれで良い。しかし今、評価をするにはこの書き方では基本計画のラインとの関係が分からない。2点目はWi-Fi環境の導入についてよく周知していただきたいということ。3点目は電子書籍の導入について。導入されれば需要があると思うがどのくらいの台数をイメージしているのか。

事務局

Wi-Fi環境の導入についてはしっかり周知する。電子書籍に関して松本委員はタブレット等の端末をイメージしているようだが、図書館では本の内容を提供するのみで端末は提供しない。

松本委員

それはどのように送るのか。

事務局

既に実施している図書館では各自パソコン等から申し込んで借りる方法。電子図書は購入とほぼ同じ手順だが貸出期限でデータが消える点が購入と異なる。電子書籍も紙の本同様に一つの内容に関しては一人ずつしか借りられないので、読後に各自返却処理(操作)をするか期限で自動返却されれば次の人が借りられる仕組みである。

松本委員

そのシステムは図書館で持っているのか。

事務局

今は持っていない。電子書籍を導入するためには専用の機械が必要になる。

松本委員

アマゾンのタブレットのようなものをイメージしていたので、もう少し具体的に書いていただきたい。本と同じく誰かが借りていると借りられないのでは電子書籍にするメリットがあまり感じられない。

高木委員

図書館まで行かなくても貸し借りができることと、自分の端末に何冊分も入れて持ち歩けるというメリットがある。

松本委員

電子書籍は端末一台に何万冊も入る。図書館も何百冊分も借りられるのか。

事務局

貸出冊数はこれからの検討になるが冊数制限は必要だと考えている。

高木委員

物理的な本ではなくデータでというだけなので、一人何冊までという制限は普通の本と同じだと聞いている。

松本委員

持ち運びのメリットが大きいということは分かった。

事務局

成果指標に関する記述については他の委員の意見も聞きたい。

青木委員長

意見はあるか。

高木委員

松本委員の意見は理解できるが、実際に報告するのは4月～3月の集計分なのであれば、評価のための検討資料として暫定的な値として9分の12の値を参考値として出させていただくというのはいかがでしょうか。

高橋委員

年度のデータが出そろってからではいけないのか。

松本委員

我々が今年度の協議会で評価を出すための資料なので遅い。

高橋委員

それならば、暫定値での評価になるという課題は確かにあるが時期的には12月時点の数値での評価になると思う。

松本委員

今年度は12か月で大体このくらいかなと達観して見ればよいが、次年度以降再検討していただきたい。

事務局

3月末の数値が出てからでは評価報告に間に合わない。また年度で委員が変わ

ることもあるという問題もある。

高木委員 事務局 例え比例配分の期間を短くした数値は出せるのか。出せなくはない。

鈴木委員 厳密ではないのは承知の上で、令和3年度の目標値の下に9か月分の推測値を（ ）書きで入れ、その数で比較するというのはどうか。1月～3月の3か月分は出ないのだから仕方ないのではないかと。

大垣委員 事務局 最終的には6月頃かと思うが我々の評価日程を変えることは難しいのか。委員が4月で変わることもあり、新しい委員が評価をするのは難しい。

大垣委員 初めての委員がいきなり評価するのは難しいということは分かった。

浅香課長 取組結果欄中央の「令和3年度目標値」は年度の目標値である。先ほど意見があったように12月末時点での推計値を実績値と比較してご判断いただくという形でお願いしたい。

青木委員長 今の事務局提案について意見はあるか。

晴山委員 コロナがどう広がっていくか分からず開館日が少なくなる可能性もあるので、見えない数字やこうなるだろうではなく、今分かっている数字で報告していただきたい。

青木委員長 松本委員の意見を踏まえて事務局で検討するということでよいか。

松本委員 事務局の説明のとおりで良いと思う。晴山委員が懸念された“よく分からない数字で将来のことを出してしまう推計”ではなく、“12か月分の目標を9か月分に圧縮した推計値”ならば将来の非現実性を取り入れているわけではないので許容範囲だと思う。

事務局 では来年度からそのような計算にさせていただく。

青木委員長 よろしく願います。では各図書館のシートについて、まずは石橋図書館への質問があれば挙手願う。

松本委員 1ページのサービス提供の向上の取組実績に、パソコンでの予約が周知されているという脈絡の中に“館内の利用者用パソコンでも同様であることを案内しています”とある。わざわざ図書館まで来て館内のパソコンで予約をするのかという疑問が1点目。2点目は3ページの成果指標について。これは先程の話と同じなのでよろしく願いたい。3点目は4ページの相互貸借の実績が借受数だけが貸出はなかったのか。これは全館に共通している項目である。

青木委員長 石橋図書館、説明をお願いします。

石橋図書館 利用者用パソコンはインターネットが使えるので（自宅同様に）予約が可能である。カウンターで直接書名を伝えたくない等の理由で利用者用パソコンから予約する人も少なくない。現在、直接画面に触れるOPACが感染対策のため利用休止中なので、“利用者用パソコンで図書館のホームページから資料検索や予約ができると案内をしている”ということを実績に書いた。2点目の成果指標については次回からは推計値で書くようにする。3点目に関しては貸出もしている。しかしこのシートは“下野市の利用者からの依頼を受けて市外図書館から借り受けた資料を何冊貸出したか”という数値であり、貸出の場合は市外の図書館に対して何冊貸し出したかという数値になる。

松本委員 相互貸借というのは下野市の図書館と県内の他の図書館とどういうやり取り

をしたかということを書き表す項目ではないのか。相互貸借なのだから“貸し”も実績であり、実績があるならその数字も必要なのでは。

石橋図書館 相互貸借の実績をあげることはできる。しかしここでは『利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実』という大前提があるので、石橋図書館を利用する市民のために相互貸借を通じて借り受けて提供した数を書いた。

松本委員 内容は分かった。項目名が「相互貸借」なのが誤解のもと。例えば「県内図書館との相互貸借による資料提供」と書くべきなのではないか。

高木委員 『レファレンスサービス機能の充実』ということから言えば確かに市民サービスに対する評価だが、市外の図書館利用者に対する提供も立派な実績であり、下野市の図書館が他所の人たちの役に立っているという誇りも持てる。市民としては是非貸出数も知りたいのでどこかに書いていただきたい。

事務局 次年度から貸出数も併記する。

青木委員長 お願いします。次に国分寺図書館について質問があるか。

小林委員 今年度の新規事業に美術館との連携で『学芸員による美術館講座』という企画があったがコロナ禍で無くなってしまった。来年度に持ち越す予定はあるか。

国分寺図書館 秋に開催予定だったが中止になり2月26日に改めて開催予定。コロナの状況次第だが実施する方向で進めているのでもう少しお待ちいただきたい。

小林委員 ありがとうございます。

青木委員長 他にあるか。

大垣委員 職員の接遇と人材育成について。次の議題にも関連あるが、アンケートに対応がいいスタッフと不親切なスタッフがいるという声が2件あったので、徹底して質の向上を目指していただきたい。

国分寺図書館 ありがとうございます。

青木委員長 次に南河内図書館について要望・意見等があれば挙手願う。

松本委員 2点伺いたい。まず4ページの「子どもの本にまつわる思い出エピソード」の応募数を教えていただきたい。2点目は5ページのおむつ交換台の設置は要望があったからなのか職員のアイデアなのかを知りたい。

南河内図書館 思い出エピソードは15冊分。おむつ交換台は利用者からも無いと不便だという声があり、また市内では南河内館だけ無かったのでスタッフで場所等のアイデアを出して設置した。

松本委員 分かりました。

青木委員長 (2)の利用者アンケート結果報告に移る。

(2)利用者アンケート結果報告について

【質疑等】

青木委員長 事務局及び各館から説明をお願いします。

事務局 令和3年度下野市立図書館利用者アンケート集計表により説明。

青木委員長 質問があれば挙手願う。

松本委員 3点ある。1点目は6ページの問10に“知らなかった”という回答項目を付ける理由が知りたい。2点目は17ページのサービスの所にアンケート結果をホームページに開示願いたいとあるが、市民にはどのように掲示されているのか。3点目は13ページ、石橋図書館の講座当日に申し込み無しで来館し空席があ

- るのに断られた、とあるが事実であれば残念である。事実関係を伺いたい。
- 事務局 1点目については、レファレンスやリクエストができることや催し物があること等を知らない方がどの程度いるのかを聞きたいと思って設けた項目である。結果的に本や雑誌を借りることも知らなかったという人が2名おり、改めて“当たり前”と思っていることでも知らない方がいるという気づきになった。知らなかった人が多いレファレンスについてはもっとアピールした方が良いと考えている。2点目のアンケートの公開は、いつも協議会後の2月から3月にかけて図書館のホームページに載せているが、期間中に見ていただかないと分からないかもしれない。
- 石橋図書館 3点目については具体的な心当たりがない。コロナ対策で講座の定員を通常の半分以下にしている。定員は満たしていても会場には余裕があるため誤解された可能性がある。しかしその説明が至らなかったということは反省し、今後きちんと対応したい。
- 松本委員 分かりました。先ほどの“知らなかった”については、CDやDVDを借りられることを知らないというのにはあり得ると思うが、新聞・雑誌の閲覧や本・雑誌を借りられることを知らない図書館の存在自体を分かっている人がこんなにいるというのはかなり問題である。
- 青木委員長 事務局の説明を聞いて、利用者というより来館者(普段から利用していない人)の中には図書館のサービスを知らない人もいるのだと理解した。もう少しPRが必要だと思う。他に質問が無ければ以上で議題はすべて終了とする。
- 4 その他
- 浅香課長 その他について事務局、各館から説明する。
- 石橋図書館 7月23日・24日に開催した『ライブラリーブックサーカス』のレポートについて説明。2日間で1,924人の来館があり好評であった。
- 国分寺図書館 12月の『自治医大の予防医学講座(中止)』に代わって配布した講師作成の予防対策プリントについて説明。講師への質問は感染症23件、腰痛19件あった。講師の回答をまとめた後、館内掲示予定。
- 事務局 次回は3月9日(水)開催。会場は3階の303会議室。図書館評価の提出を忘れずをお願いしたい。外部評価欄にAB評価を、項目毎の意見は図書館協議会のコメント欄、全体への意見は総評欄に記入すること。各図書館ボランティア団体に依頼している来年度委員の報告もお願いしたい。
- 浅香課長 次回協議会では来年度の事業計画等もお示しできると思う。コロナ関係でご心配をおかけしているが、全体の状況や県の指導等を踏まえながらその都度検討していくのでよろしくお願いしたい。
- 5 閉会
- 浅香課長 以上で第4回図書館協議会を終了とする。